

避難所運営マニュアル
「感染症対策編」

令和2年5月
幕別町

目 次

はじめに	1
第1章 事前対策	
1-1 住民が行う日頃からの準備	2
1-2 感染症流行時に対応する町の防災備蓄	3
1-3 避難先の拡充の検討	3
第2章 初動期に対応（避難所開設時）	
2-1 状況に応じた居住スペースや専用スペースの確保	4
2-2 事前受付	4
2-3 避難者の収容先の区分	4
第3章 展開期以降に対応	
3-1 避難所内の感染症対策	5
3-2 感染の疑いがある方が発生した場合の対応	5
様式1 入所時チェックシート	6
様式2 体調チェック表	7
資料1 避難所レイアウト例	8
資料2 感染症対策ポスター	9

はじめに

令和2年初頭から日本全国で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、全国的な緊急事態宣言を経て収束傾向にあるものの、今もなお、各地で感染者が発生しており、こうした非常事態においても、地震や豪雨などの自然災害は待ったなしで私たちに襲い掛かってくる。

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫感染や接触感染だが、閉鎖空間にて近距离で多くの人と会話する等の環境下では、咳等の症状が無くても感染を拡大させるリスクがあるとされている。

今後、自然災害の発生などにより避難所の開設が必要な場合は常に想定され、避難者はもとより、避難所運営に携わるスタッフからも感染者を出さないようにするため、国や北海道等が示しているガイドライン等を参考とし、避難所運営における感染症対策をまとめ、本マニュアルを作成した。

第1章 事前対策

1-1 住民が行う日頃からの準備

(1) 災害対策備蓄

感染症流行に関わらず準備するもの ※ 防災のしおり 15 頁に例示

- ・ 最低3日間（推奨1週間）分の食料や飲料水（目安：1人1日3リットル）
- ・ 携帯トイレやトイレトペーパー等
- ・ 冬の災害に備えた電気毛布や冬用寝袋、ポータブルストーブ等
- ・ 非常持出品（救急箱、懐中電灯、ラジオ、乾電池、携帯電話充電器等）

感染症流行時に必要なもの

- ・ マスク
- ・ 体温計
- ・ 石けん、消毒液、ウエットティッシュ等
- ・ 使い捨て手袋、ビニールエプロン等

(2) 避難方法

感染症流行時における避難所は、限られたスペースに多くの人々が集まるため3密のリスクが伴う。

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することであり、3密のリスクを回避した在宅避難（安全性を確認すること。）や、避難所以外（親戚や友人の家など）への避難も検討すること。

1-2 感染症流行時に対応する町の防災備蓄

(1) 資機材

- ・ 避難者等の体温を測る非接触型の体温計
- ・ 飛沫感染を防止するためのパーテーション
- ・ 感染者の排泄物からの感染防止のための自動ラップ式トイレ
- ・ 停電時の別室での隔離を想定した発電機や照明器具
- ・ 換気後の温度低下に備えたジェットヒーター等の暖房器具

(2) 感染症流行時に対応する消耗品

- ・ 避難者やスタッフが着用するマスク
- ・ トイレや洗面所で使用する石けんやペーパータオル
- ・ 手指を殺菌するアルコール消毒液
- ・ 手すり、ドアノブ等を消毒する消毒液（漂白剤等）
- ・ 掃除や除菌等の際に使用する使い捨て手袋やビニールエプロン

1-3 避難先の拡充の検討

感染症流行時には、通常よりも広いスペースが必要となるため、以下の対応を検討する。

- (1) 学校を避難所としている場合は、体育館のほか、教室等の活用を検討する。
- (2) 指定避難所以外の公共施設の活用を検討する。
- (3) 要配慮者等の避難先として宿泊施設の活用を検討する。
- (4) 避難所内での感染リスクを避けた車中泊の発生に備え、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒にならない対策や、駐車場所等の確保を検討する。

第2章 初動期の対応（避難所開設時）

2-1 状況に応じた居住スペースや専用スペースの確保

- (1) 居住スペースでは、1人当たり4㎡を目安として区画し、隣り合う人との間隔を最低1m確保する。なお、パーティションを使用する場合は、家族単位で1区画（4.4㎡）に2人を目安として収容する。（資料1）
- (2) 隔離のための専用スペースは別室を用意する。別室を用意できない場合は、居住スペースと出来るだけ離れた位置にパーティション等でスペースを確保する。
- (3) 居住スペースと専用スペースの動線が交わらないよう完全に分離する。

2-2 事前受付

- (1) 避難者の健康状態を確認するため、避難所入口に事前受付を設置する。
 - ・ テントを設営し、受付側の面には飛沫感染防止のビニールシート等を設置する。
 - ・ 体調を確認するスタッフは、マスク、手袋、エプロン等を着用する。
 - ・ アルコール消毒液を設置し、避難者に消毒を求める。
 - ・ マスクを所持していない避難者にはマスクを配付し、着用を求める。
- (2) 体調の確認
 - ・ 非接触型の体温計で発熱の有無を確認するとともに、「入所時チェックシート」（様式1）や問診で体調を確認する。
 - ・ 接触型の体温計を使用する場合は、使用の都度アルコール消毒液で消毒する。

2-3 避難者の収容先の区分

事前受付の結果により、収容先を区分する。

- (1) 健康状態が良好と判断された方
十分な間隔を空けながら居住スペースへ誘導する。
- (2) 発熱や体調不良が見られ感染の疑いがある方
本人や濃厚接触者を含め、居住スペースの動線と交差しない経路を通って、専用スペースに誘導する。また、医療機関の受診について、災害対策本部を通じて保健所に確認する。

第3章 展開期以降の対応

3-1 避難所内での感染症対策

- (1) 全員マスクを着用する。
- (2) 外部からのウイルスの持込みを防ぐため、入口での体調確認を継続する。
- (3) 避難者やスタッフごとに「体調チェック表」(様式2)を作成し、保健師や避難者の中から選定した衛生班の定期的(1日3回)な巡回により、健康状態を確認する。

また、体調不良を感じた場合には、速やかに申し出るよう声掛けする。

- (4) 可能な範囲で窓やドアを開放し、こまめに換気を行う。
- (5) ドアノブや手すりの消毒、床やトイレの清掃を定期的に行う。
- (6) トイレや洗面所などは、密集しないよう一度に利用する人数を制限する。
- (7) 食料等の物資の配付の際には、机の上に置いて受け取ってもらうなど、極力手渡しを避ける。

また、混雑を避けるため、グループの代表者へ順番での配付や、並ぶ際には間隔を空けるよう目印を設置する。

- (8) ポスターやチラシ、呼びかけにより避難所内での感染防止のための留意点を周知する。(資料2)
- (9) 相談窓口を開設し、ストレス等に対するケアを実施する。

3-2 感染の疑いがある方が発生した場合の対応

- (1) 本人や濃厚接触者を含め、速やかに別室の専用スペースに隔離するとともに、医療機関の受診や他の避難者への対応、施設の消毒方法等について、災害対策本部と協議する。
- (2) トイレや洗面所等は専用のものを用意し、使用する場合は居住スペースの動線と交差しないよう移動する。
- (3) 食事や身の回りの世話の際には、マスク、ビニールエプロン、手袋等を装着し、できるだけ限られた方で実施する。
- (4) 医療機関の受診後、陰性と診断された場合においては、体調回復まで専用スペースで経過観察する。

入所時チェックシート

現在の体調を記入し、受付に渡してください。

氏名 _____

◆体調について

発熱はありますか	はい・いいえ
頭痛はありますか	はい・いいえ
息苦しさがありますか	はい・いいえ
味や匂いを感じられない状態ですか	はい・いいえ
咳が出ていますか	はい・いいえ
たんが出ていますか	はい・いいえ
全身のだるさがありますか	はい・いいえ
筋肉痛のような痛みはありますか	はい・いいえ
嘔吐や吐き気がありますか	はい・いいえ
下痢が続いていますか	はい・いいえ

体調チェック表

様式2

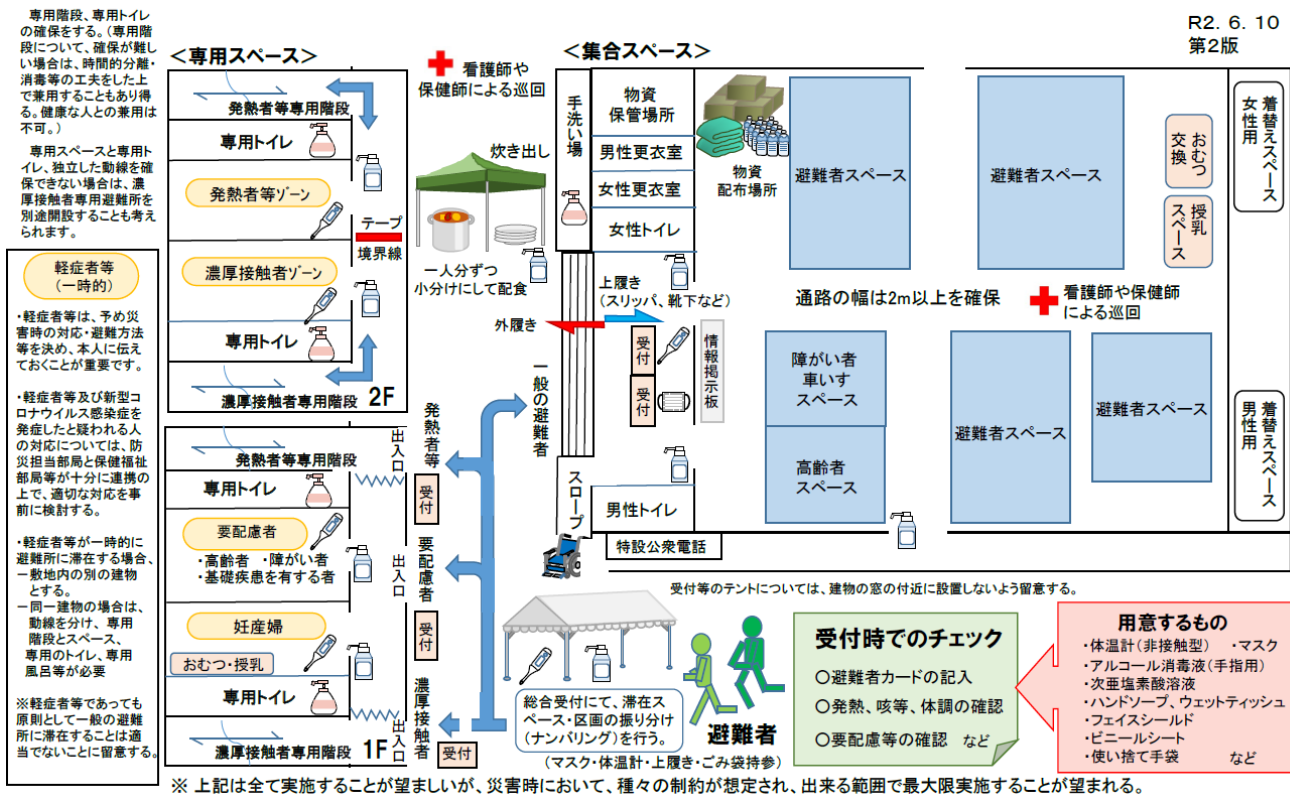
ふりがな	※その他 記入事項
氏名	

		／ (月)	／ (火)	／ (水)	／ (木)	／ (金)	／ (土)	／ (日)
体 温		朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃
		昼 ℃	昼 ℃	昼 ℃	昼 ℃	昼 ℃	昼 ℃	昼 ℃
		夕 ℃	夕 ℃	夕 ℃	夕 ℃	夕 ℃	夕 ℃	夕 ℃
息苦しさ	一つでも該当があれば「はい」を選択 ●息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ●急に息苦しくなった ●少し動くと息があがる ●胸の痛みがある ●横になれない・座らないと息ができない ●肩で息をしている・ゼーゼーしている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
味覚・嗅覚	味や匂いを感じない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せき・たん	咳やたんがひどくなった	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
のど	のどの痛みがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
鼻水	鼻水が出る	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
頭痛	頭痛がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
全身倦怠感	起きているのがつらい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
嘔吐	吐き気や嘔吐が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	下痢が続いている (1日3回以上の下痢)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	その他の症状 食事が食べられない 半日以上尿が出ていない 筋肉痛のような症状 など	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)	はい・いいえ (具体的な症状)

「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料（第2版）」より抜粋

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

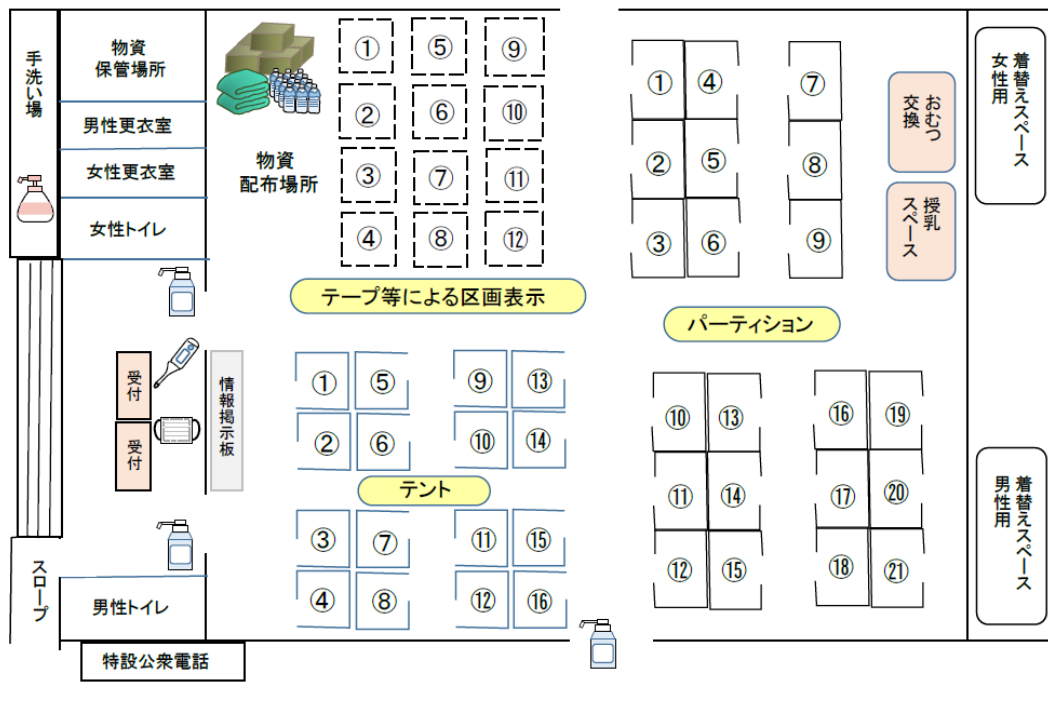
R2. 6. 10
第2版



健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2. 6. 10
第2版

●テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



感染症対策

へのご協力を
お願いします！

ほかの人にうつさないために

- ・ 隣の人とは、最低1メートル離れて過ごしましょう。
- ・ 常にマスクを着用しましょう。
- ・ ドアノブ等の共有部分に触れた後は、必ず手洗い、消毒をしましょう。
- ・ 毎日、体温・体調チェックをしましょう。
⇒ 朝、昼、夕3回実施
⇒ 発熱や体調が良くないときは、すぐに保健師や衛生班に報告してください。
- ・ 居住スペース以外で食事をとらないようにしましょう。

避難所運営上の協力をお願い

- ・ 定期的に換気しましょう。
⇒ 30分に1回以上、数分間、ドアや窓を全開に
- ・ ドアノブ等の共有部分の消毒、トイレの清掃は毎日、こまめに実施しましょう。
- ・ 物品や食事の提供時は、手渡しを避けましょう。